

水難事故防止のポイント

7月16日(火)講師の先生方を招いて着衣水泳を行いました。その授業での資料です。ご家庭でも話題にして、お子さまへの注意喚起をお願いします。

水難事故防止のポイント

日本水難救済会

○水難事故に遭わないための事前の「そなえ」

- ① 海に行く際、必ず天気予報を確認する。行かない決断をする勇氣。
- ② その海は安全かどうか確認する。過去の事故例を確認。
- ③ 「思い付き泳ぎ」をしない。飲酒後は泳がない。
- ④ ライフジャケットを着用する。
- ⑤ 一人で海に行かない。連絡体制を確保する。
- ⑥ 子供だけで海に行かせない。社会全体で教育、啓発
- ⑦ 親もライフジャケットを着て子供の側にいる。「目を離さない」ではダメ！
- ⑧ 海で流された時の対処法を身に付けておく。

この部分が
最も重要！

それでも流されちゃった！

「大の字背浮き」で浮いて救助を待つことができる？

- ・波や流れのある海で「大の字背浮き」はできない！
- ・波で顔に海水がかかり呼吸ができない。
- ・声を出したり手を振ったりしての助けを求めることができない！
- ・低体温症のおそれあり。

得意な方法（平泳ぎ、イカ泳ぎなど）で呼吸を確保！

しかし！溺れてパニックになったら対処できない！対処法には限界あり！

川では・・・
子供の下流側
海では・・・
子供の沖側
にいる。

資料提供：日本水難救済会理事長 遠山先生より